

3	対応性・更新性		2.8	0.30	2.9	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.8	0.50	
	1 階高のゆとり	階高2.9m以上、3.0m未満を確保(断面図参照)	-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.5
1	生物環境の保全と創出	生物環境の保全と創出に配慮しながら植栽などを多く取り入れた	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化基準以上の植栽を配置し、良好な景観を形成した	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物のエネルギー性能の向上		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」=等級5相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用(直接利用)		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEE=0.80	4.3	0.50	-	-	4.3
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		4.3	-	-	-	
4	効率的運用に向けた取組み		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大		-	-	-	-	
	4.4 コミュニケーションの推進		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	長尺塩ビシート	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2-52%	4.6	0.33	-	-	4.6
2	地域環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を全く発生しない	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
	3 交通負荷抑制	適切な量の駐車スペース、駐輪スペース(バイク置場含む)を確保	5.0	0.33	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	大規模なゴミ置き場を設置している	4.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策に配慮、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2024年版
 (仮称)長岡京市長岡2丁目新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						3.1		
Q1 室内環境			0.40			2.7		
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00	3.2		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.7	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-50以上採用(特記仕様書3)	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45を採用(特記仕様書3)	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50を採用(特記仕様書3)	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	2.1	1.00	2.1		
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50			
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」=等級5相当	3.0	0.38	4.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		2.2	0.25	2.5	1.00	2.4		
3.1 昼光利用		4.2	0.40	4.0	0.30			
1 昼光率	昼光率3%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.40	3.0	0.30			
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.20	1.0	0.15			
3.4 照明制御		-	-	1.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6		
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	告示対象外建材及びF☆☆☆☆をほぼ全面採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2		
1 機能性		2.9	0.40	3.8	1.00	3.6		
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	CAT6Aを使用	-	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないように距離をとった	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-			